

「高校生のための学びの基礎診断」認定にあたっての指摘事項

団 体 名： 株式会社 ベネッセコーポレーション

測定ツール名： 進路マップ 実力診断テスト

I. 出題に関すること

- 基礎診断の趣旨や学習指導要領の内容を十分に踏まえた出題となるよう、出題範囲（必履修科目と選択科目の内容の割合）や設問の種類（選択式、記述式、短答式）の出題バランスが適切なものとなるように改善すること。
- 生徒の資質・能力を適切に問うことができる設問となるよう、学習指導要領の内容との整合性を踏まえ問題の改善に努めること。
- 英語の4技能測定機能のうち、「話す」技能測定についても本ツールで対応できるよう努めること。

II. 結果提供に関すること

- 基礎診断の趣旨を踏まえ、ループリック形式の導入や学習指導要領の内容を加えた達成度評価（目標準拠）の作成など、教員の学習評価の改善に十分資するものとなるよう、結果提供方法について改善すること。

III. 運営その他に関すること

- 学校等が同じ条件の下、円滑に認定ツールを当日運営できるような実施方法及び、障害のある受検者への配慮について改善に努めること。
- テストの信頼性及び妥当性の検証について、専門的な知見を踏まえて、テストの出題内容や方法等の検証・改善を継続的に実施できる体制を整備することが強く求められること。
- 基礎力診断テストと実力診断テストの違いが、難易度のみに依拠しているため、両テストの分類の妥当性について見直しに努めること。
- 生徒の学習状況・学習に対する姿勢や学習に関する生活習慣等を把握することのできるアンケートを実施するように努めること。また、当該アンケート結果について分析し、統計化されたデータを公表するよう努めること。

（以上）